



# 市民生活の安全安心を

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は、3月11日の東日本大震災を機に、全国的にも防災対策の再点検や見直しが大きな課題となった年でございました。一方では、ボランティアをはじめ多くの方々の助け合いの心や「絆」の大切さがクローズアップされた年でもございました。市にお寄せいただいた義援金の総額は5、137万円を超え、また多くの支援物資をご提供いただきました。皆さまの心温まるご支援ご協力に心から感謝を申し上げます。国を挙げての対策により、被災地の一日も早い復興を願っております。



高島市長 西川 孝代

このような中、高島市では、皆さまの安全・安心を確保するため、昨年の8月に原子力防災対策

室を立ち上げ、現在、地域防災計画の見直しに取り組んでいるところでございます。また、公立高島総合病院の改築事業につきましては、今春の開院に向け、着々と工事が進んでいます。地域の中核病院として、救急医療の拠点として、医療サービスが提供できるものと思っております。

平成24年は、びわ湖源流の郷たかしま戦略の推進、市民生活の安全・安心の確保、若者定住の更なる促進、市民協働と民間活力の強化等を重点に掲げ、農産物認証制度の普及促進、高島産木材の利用拡大、地場産業の振興を図るなど、「びわ湖源流の郷たかしま」を市内外にアピールし、元気な高島につなげたいと考えています。

本年は、高島市総合計画後期計画のスタートの年でございます。将来に夢と希望のあふれる「住みたいまち、住み続けたいまち」の実現を目指して、職員一丸となって邁進する所存でございます。新しい年が、皆さまにとりまして、笑顔のあふれる素晴らしい年となりますよう心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。



高島市議会議長 大西 勝巳

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、日頃から市議会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災や台風による土砂災害等で、全国各地で甚大な被害が発生しました。犠牲になられた多くの方々に、心から哀悼の意を表しますとともに、被災地の一日も早い生活再建を念願しております。

東日本大震災以降、全国的に防災対策の強化が叫ばれておりますが、高島市においても、今回の震災を教訓とし、いつ何時発生するかわからない災害に備えて、地域防災計画の見直し等を進めてまいります。何より市民の命と暮らしを守る事が、私たちに課せられた大きな使命であると考えています。

長引く景気の低迷は、市税の落ち込みという形で市の財政にも深刻な影響を及ぼしているところでございます。こうした中、地域主権一括法の成立を受けて、今後ますます地方自治体の裁量と自己責任が増すこととなります。従いまして、議会と執行機関との真摯な議論により、市民の皆さまが安全で安心に暮らせるよう、全議員が一丸となって市政の推進に力を尽くしてまいります。

市議会では、議会の一層の活性化や開かれた議会をめざして自己改革を進めるため、昨年「議会改革特別委員会」を設置いたします。議会における活発な議論を通じ、市政における課題等を明確にし、市民の皆さまからいただいた付託に対して、責任をもって応えられますよう努力を重ねてまいります。

どうか市議会への一層のご理解をお願い申し上げます。皆さまと共してこの一年が幸多き年でありませうお祈りして、年頭のご挨拶といたします。

## 変革の時代に向けて



特集

安全・安心・高品質の証し！

# 高島市農産ブランド

琵琶湖は、多様な生命を生育む「母なる湖」です。この琵琶湖の水の3分の1以上を生み出す高島市は、まさに命の水の源です。

高島市では、水田を利用した農業を中心に、その豊かで清らかな水と肥沃な大地で、地域の特性を生かした高品質な農産物を生産しています。しかしその多くは、近江米や滋賀県産として販売されるため、消費者に、高島市産として認識されていないのが現状です。

こうした状況を打開し、安全・安心で環境にやさしい農産物を全国に発信するため、今年度から「高島市農産ブランド認証制度」の取り組みを始めました。

この制度は、びわ湖源流の郷たかしまの農産物として適切な生産基準を定め、それに沿って生産された農産物を認証し明示することで、高島市産の優れた農産物として、責任と自信を持って消費者へ提供するものです。

今回は、「高島市農産ブランド認証制度」の取り組みをご紹介します。